



東邦大学

東邦大学医療センター佐倉病院 耳鼻咽喉科

よしだ ともえ
難聴・めまい回復センター長 吉田 友英



難聴・めまいの回復をめざして、患者さんの心に寄りそった診療を心がけています。

2017年4月1日発行

東邦大学医療センター佐倉病院に難聴・めまい回復センターが設立されたのは、2009年です。前任の山本昌彦教授が設立し、初代センター長は現在の耳鼻咽喉科鈴木光也教授です。2012年4月から私がセンター長を拝命しました。難聴・めまい回復センターは、文字通り難聴、めまい疾患に特化した治療回復を専門としております。

難聴の回復をめざして・・・

難聴には、感音難聴、伝音難聴、混合性難聴の種類があります。感音難聴の代表は、加齢の機能低下による難聴で治療は出来ませんが、QOLの為に補聴器などの適合相談をします。しかし、突発性難聴のような急性難聴は、早期治療で治癒や軽快が十分期待でき、早期受診を逃さない啓蒙活動が重要と考えております。また、全く聞こえない耳に対しては人工内耳植え込み手術があり、県内では数少ない施設認可を受けている病院です。この手術は鈴木教授が行っており、良好な成績を得ております。



図1 人工内耳

2011年9月から現在まで11人の手術が行われ、音のある世界での暮らしをされています。伝音・混合性難聴疾患には、慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎、耳硬化症などがあります。病巣の除去改善と共に、難聴の回復もめざし積極的に手術治療を行っています。鈴木教授を筆頭に太田准教授、私を含め3人で手術を担当しています。

めまいの回復をめざして・・・

めまい疾患の約70%は内耳性めまいです。その中で最も多いのは良性発作性頭位めまい症(BPPV)です。「耳の中の石ころね」という、今やテレビ番組に出てくるめまいの病気です。当科では、22年前よりBPPVの運動療法を考案し患者さん向けパンフレットを説明配布しながら治療し、治療効果を発揮しております。

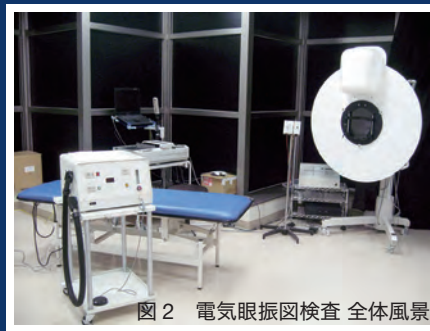


図2 電気眼振図検査 全体風景

BPPVは、運動習慣のない人、同じ姿勢で寝る人などに多くみられます。運動療法で良くなって運動をやめてしまいめまいを繰り返す

患者さんも多いため、予防運動の大切さを説明しております。

また、めまい疾患で有名なメニエール病は、実は内耳性めまいの10%前後と決して多くありません。メニエール病の発症には、ストレス・睡眠不足・疲れなどが強く関与しております。ストレス社会と言われる現代は、新たな患者さん発生環境です。内服薬だけの治療は難しく、患者さんの抱える病因背景を共有することが大切です。じっくり話に耳を傾けることが重要なのです。

しかし、めまい患者さんが全て内耳とは限りません。頭痛・頸部痛、嘔吐・嘔気、軀幹失調症状、そして臨床経過と眼振所見などを診察して、“内耳性以外のめまいかもしれない!”と感じる診察力で、何人もの脳内疾患のめまいを診断してまいりました。

十分な必要検査のために、聴覚・平衡機能検査機器を目的に応じて各種設備してあります。常時言語聴覚士2名、生理機能技師3名で専門検査態勢を組んで、同時に5名で検査を行うことができ、国内でも5本の指に入る検査件数を誇っています。

東邦大佐倉病院方式の良性発作性頭位めまい症の運動療法

良性発作性頭位めまい症と医師より診断された方は、この運動療法を施行して下さい。

- 寝起きの運動をゆっくり繰り返す
(手をついても、背中を押してもらってもかまいません)。
- 床を向く、天井を向く運動を、体全体を使ってゆっくり繰り返す。
- 寝返りの運動をからだ全体でゆっくり行う。



めまいをおこしても怖がらずに行ってください。気分が悪くなったら休んで、落ち着いたらまた始めて下さい。可能な運動だけでもよいので、行ってください。めまいが起こっても、繰り返しているうちに軽くなっていくことを実感してください。

*2や3の運動は、首だけ動かして行わないように注意してください。

*めまいが改善されても、予防のために1日2-3回は行うようにしてください。寝る前、起床時には必ず行ってください。

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土
午前			吉田 再診	吉田 初診		
午後			吉田 難聴・めまい外来		吉田 めまい外来※初診は予約のみ	
紹介患者事前診療予約				予約可	予約可	

※当院受診の際には、できる限り紹介状をご用意ください。

発行 広報委員会・東邦佐倉会事務局

〒285-8741 千葉県佐倉市下志津564番地1 / TEL:043-462-8811(代) / FAX:043-462-8820(代) / URL

診療についてのお問い合わせ先

医療連携・患者支援センター

月～金曜日 9:00～17:00 土曜日(第3土曜日除く) 9:00～13:00

TEL 043-462-8770 FAX 043-461-2721

http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp



東邦大学

東邦大学医療センター佐倉病院 外科

教授 おかずみ しんいち
岡住 慎一



「食道癌に対して、適切な診断に基づく個別化治療により、低侵襲性と高い治癒率の両立を目指しています」

2017年4月1日発行

早期例には内視鏡・鏡視下手術で、進行例には集学的治療で対応します。

東邦大学佐倉病院外科では、消化器内科との連携のもと、適切な診断による個別化治療により、検査・治療における必要最低限な負担にて最大の治療効果を得られるように努力しています。

食道癌診療における個別化と質的診断の重要性

日本食道学会では、集積した evidence をもとに腫瘍進行度別の治療ガイドラインを2012年に発表し、① stage 0における内視鏡切除(endoscopic submucosal dissection:ESD)、② stage Iにおける外科切除、③ stage II、IIIにおける術前化学療法と外科切除、④ stage IVにおける化学(放射線)療法を治癒率の観点から推奨しています(図1)。的確な staging を行うためには、高精度な診断機器と診断手技を要し、形態的・質的の両面からの評価が重要となります。内視鏡切除適応症例選別には、超音波内視鏡による粘膜癌の判定が有用であり、リンパ節転移や進行癌における進行

度診断には造影 MD-CT や MRI が有用です。さらに PET 検査を用いて補完することにより、精度の高い進行度判定が可能となります。

外科切除の低侵襲化と集学的治療による予後向上の進歩

従来食道癌の手術は、一般に開胸開腹を要し、さらに3領域リンパ節廓清を要する場合は消化器外科領域で最も高侵襲な手術と位置付けられ、その低侵襲化が課題となってきました。そしてこの20年の努力の結果、低侵襲開胸法(肋骨非切除、胸筋温存)、周術期ステロイド管理によるサイトカイン抑制、鏡視下手術の導入(図2)による体壁侵襲と出血量の減少と低侵襲化が進み、術前後の呼吸、循環、栄養、感染管理の進歩を合わせ、術後早期の全身状態の安定と摂食開始、約2週での退院と早期社会復帰が可能となりました。

高度進行例において他臓器浸潤が疑われる場合でも、化学放射線治療によって縮小を得て、治療切除により予後向上が得られる症例を判定し、根治を目指すことが重要であります。治療効果と切除の

可否の判定には精度の高い質的診断が有用です(図3)。

以上述べてきました診断、治療、管理法の進歩と個別化により、以前は難治性癌の代表であった食道癌の外科治療成績は専門施設を中心に向上しており、当院は日本食道学会認定食道外科専門医認定施設として術後の短期経過・長期予後において良好な成績を得ています(図4)。

食道癌診療の今後と大学病院としての課題

本邦では高齢化社会に伴い、食道癌の罹患率は上昇傾向にあります。予防、早期発見、より低侵襲な治療法の適用の方向性をすすめ、さらなる外科手術の低侵襲化、未だ残る難治例に対する免疫学的治療、温熱治療等の新規治療法の開発が課題であります。東邦大学佐倉病院では、内科外科の連携のもと、これらの課題に取り組んでいます。また、毎年公開講座にてその成果と進歩の現況について広く周知を図っています。地域の期待に、最高度の医療にて応え、治療成績の向上を進めていく所存です。

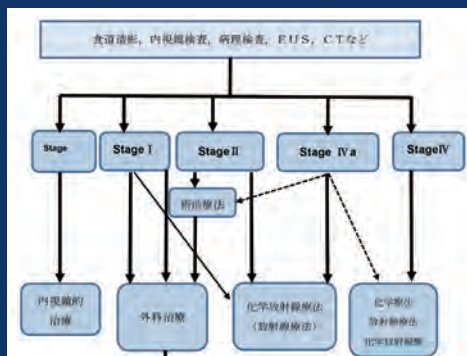


図1 食道癌治療のアルゴリズム
食道癌 診断・治療ガイドライン
2012年4月版



図2 胸腔鏡・腹腔鏡による鏡視下食道癌切除術

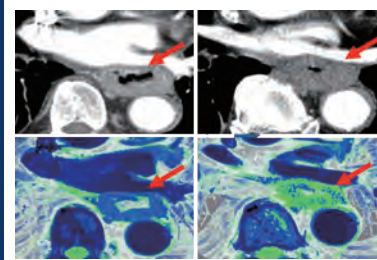


図3 食道癌肺静脈浸潤(矢印)に対する化学放射線治療効果の質的画像診断(造影MD-CT)治療効果の画像化(緑色化)による他臓器浸潤所見消失判定

成績:	縫合不全	反回神経	胃管狭窄	裂孔ヘルニア	再発	生存率(%)
合併症	全	経	1例	2例	0例	(術後日数)
予後	0例	麻痺	(6.3%)	(12.5%)	(0%)	100(%)
	(0%)	3例				(89-2196日)
		(18.8%)				

図4 食道癌鏡視下手術の成績
(2010-2016: 16例)

消化器外科	月	火	水	木	金	土
午前			岡住		岡住	岡住
紹介患者事前診療予約			予約可		予約可	

※当院受診の際には、できる限り紹介状をご用意ください。
※紹介患者事前診療予約をご利用の際は、紹介状をご用意の上お問い合わせください。

診療についてのお問い合わせ先

医療連携・患者支援センター

月~金曜日 9:00~17:00 土曜日(第3土曜日除く) 9:00~13:00

TEL 043-462-8770 FAX 043-461-2721